

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.105

萩ジオパーク推進協議会

| 2023年11月30日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>



この秋は、各地域のイベントにたくさんおじゃましました！

日本ジオパーク認定5周年記念の一環で、10月1日の弥富そばの花まつりを皮切りに、11月3日むつみふるさとまつり、5日かわかみふるさとまつり、19日あきのささなみまちじゅうまつり、26日の田万川地域生涯学習フェスティバルと、地域のイベントにおじゃまいたしました。いずれの会場も多くの方にブースを訪れていただき、体験を通して萩ジオパークを知っていただくことができました。

むつみ、佐々並、田万川では地域の**食生活改善推進員さん**と一緒に出店してレシピを配布。むつみでは**千石台大根**の無料試食や販売も。



大地が違えば水が違い、水が違えば食文化が異なる
～飲み比べカフェ～



萩ジオツーリズム協会のスマートボールや大地の成り立ち実験、**すさPR☆COMPANY**の景色をステンシルで表現するスサギンチャクが大人気！



第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東に参加しました



第13回日本ジオパーク全国大会in関東「今こそ行く！ジオパーク」が開催されました。今大会は、銚子会場と秩父会場の2会場で開催され、萩ジオパークからは、銚子会場に7名、秩父会場に1名が参加しました。

27日は、秩父会場で、秩父市観光大使林家たい平師匠による特別座談会「ジオパーク秩父と私」が開催され、28日は、銚子会場で開会式が行われ、表彰や茨城大学理学部長・一般社団法人日本地質学会会長岡田誠氏による基調講演「チバニアンと地質遺産」、前JGN事務局長・DMO一般社団法人糸魚川市観光協会事務局長齊藤清一氏による基調提言「ジオパークは誰のためのもの？」が行われました。午後からは各会場で分科会が行われ、萩ジオパークからは、「ジオパークから考える川・海のごみ問題」、「ジオパークって何をやる活動?」、「ジオパークから発信するサステナブルツーリズムの今」に分かれて参加、終了後は交流会にも参加し全国各地のジオパーク関係者と交流を深めました。

29日は銚子会場のポスターセッションコアタイムで、「萩ジオパークのつくり方」と、「萩ジオパークの体験プログラムのつくり方」を発表、銚子会場近くで開催されていた「屏風ヶ浦ジオマルシェ」や、秩父会場周辺で開催されていた「CHICHIBUプレミアムダイニング」などを見学しました。今回、萩ジオパークが表彰されたことに対し、多くの大会参加者から祝していただきました。年1回のジオパーク関係者の交流の場として開催される全国大会で、各地域の実情や課題、課題に対する取組み状況を直接聞くことができ大変参考になりました。参加された皆さまお疲れ様でした。

参加者の感想



ポスターセッションの様子

【萩ジオツーリズム協会 石飛 一枝さん】

北海道アポイ岳、大分大会に続き3回目の全国大会参加です。表彰式では、グッドプラクティス賞を頂き、萩ジオパークから参加した皆さんと喜びと感謝をステージで分かち合いました。分科会では脇田戦略顧問が講師を務めた「ジオパークって何をやる活動?」に参加し、ジオパークとは過去から未来、1人からみんなへ、地域から世界へと心の時空を広げる活動であり、地質遺産の保全が最大の目的である。ということに改めて心に刻みました。ポスター発表では、溶岩実験を見てもらい、全くガイド経験がなかった私が、専門員から教わりながら、実験や体験をおして感じてもらうガイドをしていることなどを説明しました。健康であれば来年の下北大会にも参加したいと思っています。

参加者の感想

【萩ジオツーリズム協会 斉藤 みよ子さん】

分科会では「ジオパークって何をする活動？」に参加しました。今まで自分の関わるジオサイトで、宝石や化石などの販売は関係がないので、深く考えることがなかったのですが、地質遺産の活用と保全について考えるきっかけとなりました。「宝石は文化だ」という説もあるようですが、「地球の歴史である貴重な地質遺産を将来のために残さなくてはならない。」ということが理解できました。ポスター発表では、一方的に説明するのではなく五感を重視したツアーをしていること、専門員と相談しながら地域の人がガイドをしていること、これらにより年々市内、市外、県外の参加者が増えてきたこと、現在笠山山頂で笠山ジオの会が行っている取組みなどを説明し、質問や感想をいただきました。いい体験が出来たことを感謝します。

【萩ジオツーリズム協会 伊達 千絵さん】

分科会では「ジオパークから考える川・海のごみ問題」に参加しました。日本のどこの海岸にも、漂着ゴミがあります。海洋ゴミにはさまざまな種類があり、紙や布、木材など自然由来のものは時間の経過とともに分解されて自然に帰っていきますが、プラスチックは分解されず、マイクロ化していつまでもとどまってしまう。大井、奈古の浜清掃で見られる漂着ゴミは、中国のものや韓国のもありますが、やはり多くは日本のものです。漁業関係の発泡スチロールや漁の仕掛けのものも数多く見かけられます。中には、歯ブラシやシャンプーの容器など、なぜこんなものが海に流れ着くのだろうと思うものもあります。海岸漂着ゴミの8割は、河川から流れ出したものであり、ペットボトルの半数は日本のものであるといます。何気なく捨てて、自分の目に触れなくなると消えてなくなってしまったと考えている人が多くいるのですが、決してそんなことはありません。私たちの生活は、地球の営みの上に成り立っており、自然と共生していかなければならないのだから、自分たちが「ゴミを出している」という意識、「拾うゴミ」から「出さないゴミ」という意識を一人ひとりが持つ必要があると改めて感じました。

越ヶ浜小学校ジオパーク学習

11月10日は萩市立越ヶ浜小学校の5・6年生と一緒に須佐ホルンフェルスに行ってきました。

同じ萩市に住んでいても、これまでに来たことがある子は3人だけ。ほとんどの子が初めてだったようです。現地で地層の実物に触れると「白いところはザラザラしてるけど、黒いところはスベスベしてる」と、素晴らしい観察力を発揮してくれました。

地層の成り立ちの解説の後、地元出身のガイドさんが天然の岩のりを見せてくれました。この辺りは冬になると平らな岩場にビッシリと海苔が付き、地元の人たちはそれを手で採って集めて板海苔にします。子どもたちの地元・越ヶ浜の海といえば、笠山をはじめ火山の活動でできたゴツゴツの溶岩だらけ。場所がちがえば大地がちがって、大地がちがえば暮らしがちがう。そんなことを感じてもらえたのではないのでしょうか。



第1回「大地の日」を開催します！

日時：2023年12月17日（日）10:00～15:00

会場：萩セミナーハウス

申込み：不要

内容：寒い季節にピッタリの鉄なべ料理などで野外で過ごす「大地の遊び人広場」や、室内での実験教室、工作プログラムなどを通して、普段あまり気に留めない足もとの“大地”に目を向ける1日。お好きな時間に、お気軽にお立ち寄りください！



萩ジオアカデミー特別編



第1回：2023年12月23日（土）13:30～15:30、オンライン開催

第2回：2024年1月21日（日）9:30～16:00、
萩セミナーハウス（予定）

申込み：事務局までお電話（0838 - 21 - 7765）

内容：講師に日本科学未来館で科学コミュニケーターとして活躍されている花井智也さんをお招きし、子どもから大人まで楽しく学べるプログラムをどのように作っているのか、その舞台裏を教えてください。第1回はオンラインでお話を聞き、第2回は実際に受講者でプログラムを企画してみます。専門的な知識を一般の方に伝える極意を教わりましょう！

笠山山頂展望台鳶ノ巣からのお知らせ

笠山山頂展望台鳶ノ巣を平素よりご愛顧いただき誠にありがとうございます。12月から2月までの冬季期間、2階カフェの営業時間が午前10時から午後3時（ラストオーダーは午後2時30分）まで、3階展示休憩室の開館時間が午前10時から午後4時までとなりますのでお知らせします。また、2階カフェ、3階展示休憩室ともに12月29日から1月3日の年末年始をお休みとさせていただきますので併せてお知らせします。ご不便をおかけしますが、よろしく申し上げます。尚、建物の回廊部分はこれに限らずいつでもご利用いただけます。



12月の予定

- geoとも（萩ジオ友の会） 12月16日（土）13:15～15:30 場所：市民活動センター 結 内容：定例会「ジオトークよもやま話」 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）
- 第1回「大地の日」 12月17日（日）10:00～15:00 場所：萩セミナーハウス 内容：上記を参照 主催・問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）
- 萩ジオアカデミー特別編 12月23日（土）13:30～15:30 内容：上記を参照 主催・問い合わせ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）